

令和5年6月29日からの大雨について (第4報)

1 厚生労働省における対応

- (1) 6/29 15:00 厚生労働省災害情報連絡室設置

2 医療関係

- (1) 医療関係全般 (7月1日11時30分時点)

・各都道府県に対し、大雨の影響による医療施設等の被害情報について EMIS 等を通じた情報収集、情報提供を依頼。また、都道府県等を通じて、管内施設管理者に対し、気象・防災情報に留意しつつ、必要な行動をとることや非常用自家発電設備の燃料を確保しておくことなどの注意喚起を依頼 (6/29)。

6月30日	長崎県	EMIS 警戒モードに切り替え。
6月30日	大分県	EMIS 警戒モードに切り替え。
6月30日	鹿児島県	EMIS 警戒モードに切り替え。
7月1日	広島県	EMIS 警戒モードに切り替え。
7月1日	山口県	EMIS 警戒モードに切り替え。

- (2) 医療施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

- (3) 医薬品・医療機器製造販売業、卸売販売業関係

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

3 生活衛生・食品安全関係

- (1) 水道の被害状況

① 断水の状況

- ・大分県内の1事業者において、約1,000戸が断水。なお、断水解消済み。
- ・引き続き情報収集に努める。

県・市町村 ・事業者名	断水戸数（戸）		断水 期間	被害等の状況
	最大	現在		
【大分県】 このえまち 九重町	約1000	0	6/30～ 7/1	・原水の濁り
合計※	約1000	0		

※：各市町村等の断水戸数の合計

4 社会福祉施設等関係

(1) 高齢者関係施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

(2) 障害者関係施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

(3) その他

各都道府県・指定都市・中核市に対し、大雨の影響による社会福祉施設等の被害情報の収集体制の確保や停電時の支援体制の確認とともに、速やかな被害状況の把握と情報提供を依頼。併せて、都道府県等を通じて、社会福祉施設等の管理者に対し、気象・防災情報やハザードマップに留意しつつ、早期避難など必要な対策をとるよう注意喚起を依頼。(6/29)

5 保健・衛生関係

(1) 人工呼吸器在宅療養難病患者

各都道府県・指定都市・中核市・児童相談所設置市に対し、特に在宅で人工呼吸器を使用している難病患者に関する対応について注意喚起を行うとともに、被害発生時における報告を要請(6/29)。

患者団体に対し、地区支部を通じて、特に在宅で人工呼吸器を使用している難病患者への被害情報の把握について協力を依頼(6/29)。

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

(2) 人工透析

各都道府県に対し、透析医療の提供が困難となる事態にも対応できるよう注意喚起を行うとともに、被害状況確認の連絡体制確保を要請した。また、日本透析医会に対し、情報共有について協力を依頼した。(6/29)

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

(3) 被災者の健康管理

- ・各都道府県・保健所設置市・特別区に対し、連絡体制の確保を要請（6/30）。

現時点で保健所の被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

- ・各都道府県・保健所設置市・特別区に対し、被災地で保健師などが行う保健活動に活用するための事務連絡を送付し、避難所生活を送る被災者の方々の健康管理を行うに当たり、十分な対策を行うよう要請（6/30）。

6 地方支分部局関係

(1) 都道府県労働局関係（管内の状況） 【7月1日（土）8:00時点】

7/1（土）大分労働局管内の以下の公共職業安定所の附属施設について、土曜日の開庁は通常通り開庁することとなった。

- ・大分公共職業安定所（O A S I Sひろば2 1 職業相談窓口）

以上